

つくば市令和8年（2026年）2月定例記者会見 資料一覧

令和8年（2026年）2月16日（月）
つくば市 市長公室 広報戦略課

- 1 さくら小学校の開校について
- 2 第25回チャレンジアートフェスティバルinつくばの開催について
- 3 つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業最終報告会の開催について
- 4 第2期つくば市スタートアップ戦略〔改定版〕の策定について
- 5 つくば市イベント情報（2026年2月、3月）等

世界のあしたが見えるまち。

令和8年（2026年）2月定例記者会見 資料No. 1

教育局 学務課(さくら小学校全般に関すること)
 こども部 こども育成課(アフタースクール事業に関すること)

事 案 名	さくら小学校の開校について
1 趣旨・目的	<p>令和8年4月に、つくばエクスプレス沿線開発区域である中根・金田台地区の児童数増加に対応するため、新たに「さくら小学校」を開校します。</p>
2 日時	<p>設置日：令和8年4月1日（水） 開校式：令和8年4月3日（金）</p>
3 場所	<p>つくば市春風台16番地1</p>
4 内容	<p>さくら小学校は、栄小学校、九重小学校、栗原小学校の3校の通学区域の一部を分離した新設校です。</p>
5 対象者等	<p>令和8年度開校時点の児童数は約570人で、通常の学級が19クラス、特別支援学級を含むと全24クラスと見込んでいます。 ※1月20日時点 568人。</p>
6 特記事項	<p>学校名や校章などについては、保護者と教員からなる「開校準備委員会」を中心に、児童や保護者へのアンケート調査などを行いながら決定しました。</p> <p>「多様な教育環境に配慮した学校」、「地域に開かれた学校づくり」などをコンセプトに、学校生活の中で児童同士が自然に積極的な交流を図れるような工夫や、地域の方々に開放することを想定した工夫を施した設計となっています。</p> <p>放課後や長期休業期間には学校内でアフタースクール事業を実施します。放課後児童クラブと、保護者の就労等を問わず参加可能な居場所を一体的に運営し、様々な体験・活動を提供することで児童自らが「好き」や「得意」を見つけ、自主的にやりたいことを選択できる場にしていきます。</p>
資 料 等	

<p>事 案 名</p>	<p>第25回チャレンジアートフェスティバルinつくばの開催について</p>
<p>1 趣旨・目的</p>	<p>障害者が制作した作品の展示と演劇等の舞台発表を通して、生きがいを高め、自立と社会参加を促進するとともに、障害者に対する市民の認識と理解を深めることを目的としています。</p> <p>舞台発表同日に、大清水公園にてポニー乗馬体験と障害者就労施設等による物品販売会を開催します。</p>
<p>2 開催概要</p>	<p>① 舞台発表</p> <p>日時：令和8年3月7日（土）10:00～15:15</p> <p>場所：つくばカピオホール</p> <p>（同日開催イベント）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポニー乗馬体験 日時：令和8年3月7日（土）11:00～15:00（受付終了14:30） 場所：大清水公園 ※雨天中止 ・障害者就労施設等による物品販売 日時：令和8年3月7日（土）11:00～15:00 場所：大清水公園 ※雨天時はつくばカピオ内エントランスロビー <p>② 作品展</p> <p>日時：令和8年3月10日（火）～15日（日）〈6日間〉</p> <p>9:30～17:00（最終日は15:00まで）</p> <p>場所：茨城県つくば美術館</p>
<p>3 主催等</p>	<p>つくば市、チャレンジアートフェスティバル実行委員会</p>
<p>資 料 等</p>	<p>「第25回チャレンジアートフェスティバルinつくば」チラシ</p>

<p>事 案 名</p>	<p>つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業 最終報告会の開催について</p>
<p>1 趣旨・目的</p>	<p>つくば市では2017年から、国が提唱する「Society 5.0」という未来社会の実現を目指し、事業者が行う先端技術のトライアル（実証実験）の支援をしています。</p> <p>全国に先駆けて始まった「つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業」は、その後「つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業」（以下「スマトラ」）へと発展しましたが、今年度をもって本事業に一旦区切りをつけ、来年度からは新たな形での実証支援を検討しています。</p> <p>本報告会では、今年度実施した4件の実証実験の成果報告を中心に、講演・対談やパネルディスカッションを通じて参加者の皆さんと共に本事業の成果や課題を振り返り、今後の実証支援の在り方を考えていきます。また、これまでの実証実験を紹介・体験できるブースも出展します。</p>
<p>2 日時</p>	<p>令和8年3月7日（土）12:30（開場）13:00～15:30</p>
<p>3 場所</p>	<p>イーアスつくば 2階 ホールA・B・C（オンライン視聴も可）</p>
<p>4 内容</p>	<p>○プログラム（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12:30 開場・実証紹介ブース（体験・展示コーナー）出展開始 ※15:30 まで ・13:00 開会あいさつ ・13:05 企業版ふるさと納税あいさつ（水戸証券株式会社様） ・13:10 令和7年度スマトラ採択事業者による成果報告会（4件） ・14:00 基調講演「実証から社会実装までの振り返り」 ・14:40 パネルディスカッション ～テーマ：スマトラが市にもたらした意義～ ・15:20 講評 ・15:25 閉会あいさつ

5 参加方法	<p>事前申込制</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現地参加（先着40名） 2 オンライン参加
6 登壇者等	<ul style="list-style-type: none"> ・実証紹介ブース出展 （令和7年度スマトラ採択者4件及び過年度採択者含む計9件） ・水戸証券株式会社様（企業版ふるさと納税） ・成果報告会（令和7年度スマトラ採択者4件） ・基調講演「実証から社会実装までの振り返り」 （講師：株式会社リーバー代表取締役 伊藤 俊一郎氏） （対談：つくば市長 五十嵐 立青） ・パネルディスカッション「スマトラが市にもたらした意義」 （ファシリテーター：つくば市顧問/アーキテクト 鈴木 健嗣） ・講評 スマトラ審査委員長 江渡 浩一郎氏（メディアアーティスト/ZEN大学 教授）
7 主催等	つくば市
8 特記事項	<p>例年実施しているスマトラ最終報告会と異なる点として、会場をイーアスつくばのホールに移し、今後の実証支援の在り方を市民の皆様と議論するためのパネルディスカッションや、スマトラ事業をきっかけに社会実装を達成した事業者による基調講演を設けています。</p> <p>報告会だけではなく、スマトラで採択された事業者による実証紹介ブースも設置し、市民の皆様に取り組みを分かりやすく説明する機会を創出します。</p>
資料等	「つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業最終報告会」チラシ

事 案 名	第2期つくば市スタートアップ戦略〔改定版〕の策定について
1 趣旨・目的	<p>現行の「第2期つくば市スタートアップ戦略」は、2023年2月に公表し、茨城県、筑波大学、研究機関や金融機関などの支援機関と連携してスタートアップの創出や成長を支援する各種施策を展開しています。</p> <p>現行戦略の実績や課題、スタートアップを取り巻く市内外の社会情勢の変化等を踏まえて中間見直しを行い、つくば市未来構想の目指すまちの姿（ビジョン）の実現に向けたスタートアップ支援の方向性を定める、「第2期つくば市スタートアップ戦略〔改定版〕」を策定しました。</p>
2 パブコメ実施結果	<p>実施期間：令和7年12月8日～令和8年1月7日（31日間） 実施結果：意見提出 2名 8件 意見による修正：なし（※） パブリックコメントによらない修正：11件 （最新情報への更新）</p> <p>※いただいた意見は、第3期に向けての検討材料とします。</p>
3 策定日	令和8年1月30日
4 基本目標	「起業文化の醸成により、人の成長と科学技術が社会に活かされるまち」
5 基本施策	<p>基本方針：</p> <p>①人的資源と研究成果を活かしたスタートアップの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別施策1 起業、チャレンジ精神の醸成【重点施策】 個別施策2 初期事業化の促進【重点施策】 個別施策3 社会実装支援 個別施策4 成長段階に応じた適正なインフラ環境の確保支援 個別施策5 海外展開及び海外人材確保支援 <p>②スタートアップが成長できるエコシステムの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別施策6 コミュニティの醸成 個別施策7 スタートアップと人材の交流支援 個別施策8 スタートアップの創出及び成長を促すエコシステム（連携体制）の構築【重点施策】

<p>6 改定版のポイント</p>	<p>現行戦略の中間見直しを行い、主に以下のポイントを変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくば市がスタートアップを支援する背景として、つくば市未来構想の理念及び目指すまちの姿を実現するために、イノベーション創出とアントレプレナーシップに重点を置いた文脈に修正 ・これまで掲げてきた一般的な成長モデル（Jカーブ）ではなく、ジャンルによって成長モデルが異なるというディープテック・スタートアップの実情を反映させたスタートアップの再定義 ・つくば市の強みとして、住環境について追記 ・8つの個別施策のうち3つを重点化：「5 個別施策」参照 ・第3期戦略に向けて準備を行う旨を追記
<p>7 達成目標</p>	<p>具体的な目標値は定めていませんが、代わりに4つのモニタリング指標を定め、戦略の成果を検証します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ創業数 ・スタートアップの資金調達額 ・スタートアップのエグジット件数 ・スタートアップの流入数 <p>※4～は、令和7年12月定例記者会見資料と同内容</p>
<p>資料等</p>	<p>第2期つくば市スタートアップ戦略〔改定版〕</p>